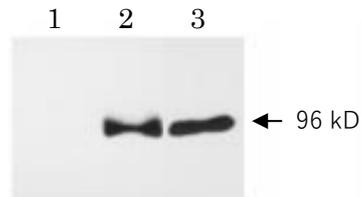


## 抗アミロイド前駆体タンパク質 (APP) ΔC31 C-末端 抗体, ウサギ抗血清 (SAC)

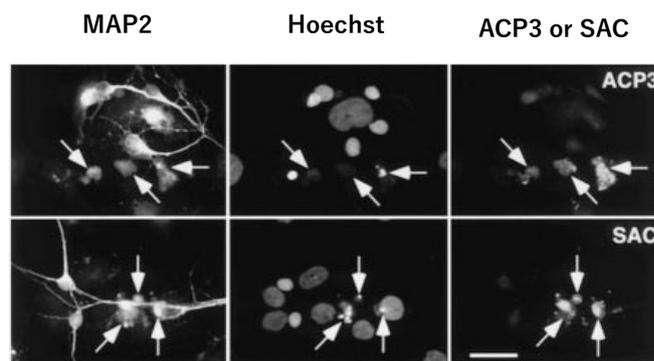
商品コード	74-110
容量	100 μl
保存	-20°C 凍結融解を避ける
濃度	N/A
バッファー	0.05 % アジ化ナトリウム添加
純度	ウサギ抗血清
抗原	ヒト APP 695 が caspase 3 で切断されて生じたフラグメント (APP ΔC31) の C-末端 (アミノ酸 No. 658-664) に相当する合成ペプチド
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	ヒト, マウス, ラット
特記事項	ヒト APP695 の caspase 3 切断により生じたフラグメント (APP ΔC31) の C-末端に対する抗体 (SAC と命名) がウサギで作られた。
アプリケーション	1. ウェスタンブロッティング (希釈: 1/1000~1/3000) 2. 免疫細胞化学 (希釈: 1/500~1/1000) 3. 免疫組織化学 (希釈: 1/500~1-1000) 他の用途は試していない。
背景	<b>アルツハイマー・アミロイド前駆体タンパク質 (APP)</b> は膜貫通型タンパク質で、このタンパク質の異常なプロセッシングはアルツハイマー病を発症することが知られている。プロテアーゼ・インヒビター・ドメインを欠いた APP695 は神経組織に主に見られるアイソフォームである。APP695 は caspase によって、C-末端の 31 アミノ酸を欠いた 664 アミノ酸よりなる N-末フラグメント (APP ΔC31) と C-末端の 31 アミノ酸よりなるフラグメント (APP-C31) に切断される。 <b>APP ΔC31</b> は神経細胞死に働いていると考えられる (文献3)。
データリンク	UniProtKB <a href="#">P05067</a> (A4_HUMAN)
関連商品	#74-102 抗 Activated Caspase 3 (p20/p17 subunit) 抗体, ウサギ抗血清 (ACP3) #74-104 抗 APP (C-terminal) 抗体, ウサギ抗血清 (AC1) #74-106 抗 APP (N-terminal)抗体, ウサギ抗血清 (AN2) #74-108 抗 APP-C31 フラグメント特異的抗体, ウサギ抗血清 (ACT1) #74-110 抗 APP ΔC31 (APP Δ31 の C 端特異的) 抗体, ウサギ抗血清(SAC)
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 74-110 抗アミロイド前駆体タンパク質 (APP)  $\Delta$ C31 C-末端 抗体, ウサギ抗血清 (SAC)



### 図1 APP $\Delta$ C31 のウエスタンブロッティング解析

ヒト NT2 neurons (ヒト NT2 embryonic carcinoma cell が神経分化した細胞) に  $\beta$ -galactosidase (レーン 1)、野生型 APP (レーン 2)、または APP $\Delta$ C31 (レーン 3) を発現したアデノウイルス・ベクターを感染させた。感染後 48 時間後に細胞を可溶化し、この抗体(SAC)を用いたウエスタンブロッティングによってタンパク解析を行った。野生型 APP を過剰発現しているニューロンに SAC に反応性の 96kD のフラグメントが検出された。このフラグメントは APP $\Delta$ C31 を過剰発現しているニューロンにも検出された。



### 図2 APP $\Delta$ C31 の免疫細胞化学: 血清除去により誘導されたニューロンにおける caspase 3 の活性化と caspase 切断フラグメント APP $\Delta$ C31 の生成

神経分化した NT2 細胞を胎児血清の非存在下で 96 時間培養した。細胞をニューロンマーカー (MAP2)、染色体 DNA (Hoechst)、活性化 caspase-3 (ACP3; 上の パネル)、または APP $\Delta$ C31 (SAC; 下のパネル) で染色した。アポトーシスした核 (矢印) を持ち、MAP2 に染まるニューロンが ACP3、SAC で強く免疫染色された。